

# かけはし

もりよし荘だより

NO. 8

平成26年10月1日

編集・発行

〒018-4301

秋田県北秋田市米内沢字七曲25番地

(社会福祉法人 交楽会)

介護老人保健施設 もりよし荘

TEL. 0186-72-5030 FAX. 0186-72-5017

<http://www.akita-kouraku.jp/>



米内沢保育園の園児のみなさんによる踊りを  
我が孫を見るように目を細め嬉しそうに見て  
いました。

# 祝敬老

## 笑顔で長生き

最高齢は百一歳



目録を受け取る利用者

もりよし荘の敬老会が9月11日行われ、関係者多数のご臨席のもと、利用者の長寿を祝いました。最長寿は満百一歳の男性。本年度は百歳以上が1人、95才以上が7人、白寿1人、卒寿1人、米寿8人、傘寿3人、喜寿3人、古希1人となっています。



お祝いのカードを手渡す園児

もりよし荘で11日、敬老会が開かれ、米内沢保育園児によるアトラクションを楽しむとともに、お祝いに駆け付けた家族や職員といっしょに長寿を喜び合った。この日88歳の米寿を迎えた人たちは赤いちゃんちゃんこを着て式に出席。敬老対象者と利用者は車椅子や歩行を助けてもらいながらホールに集合した。

初めに松橋祥介理事長が「今日のように平和で、安心して暮らせる社会になったことは、長い間皆さんの努力があったからこそ。健康には十分注意して、来年も皆さんが元気で敬老会を迎えるよう祈念します」とあ

いさつした。

湊施設長が「平均寿命がまだまだ長くなると思う。今日は楽しんでください」とお祝いの言葉を述べた。

代表の鈴木ハルエさん(88歳)は「私達にこのような会を開いていただきありがとうございます。健康に気を付けて心豊かに過ごしていきたいです」とお礼を述べた。白寿、卒寿、米寿の長寿者を紹介し、記念品を贈呈。式終了後、米内沢保育園児がアトラクションを披露、歌と遊戯などを楽しみながら互いの長寿をお祝した。

### 心の絆 受け継いで



選手達を激励する看板



利用者とランナーとのふれあい

「心の絆 受け継がれる(和)なごみ」をテーマに掲げた2014北緯40度秋田内陸リゾードカップ第24回100キロチャレンジマラソン大会が9月28日、仙北市角館町・北秋田市鷹巣間をコースに開かれた。

晴天にも恵まれ、少し暑い中利用者は荘の入口にてマラソンランナー達へ「頑張ってください、鷹巣まで頑張ってください」と旗や手を振り熱い声援を送っていた。声援を受けたランナーは「がんばります、来年も来るから長生きしてね」と疲れているにも関わらず、笑顔で手を振ってくれた。ランナーと利用者との和みのひとときだった。

# 夏の夜のひととき

## ～夕涼み会開催～



家族らでにぎわう



飛び入りの子供と一緒に

もりよし荘夕涼み会が、8月1日開かれ利用者や家族、地域住民が民謡ショーや模擬店などで夏の夜のひとときを楽しんだ。

会場には、焼きそば、かき氷、金魚すくい、輪投げ、宝引きなどの夜店が設けられ、職員やボランティアが汗だくになって切り盛りした。利用者も家族らに車イスを押しもらい、買い物と一緒に食事する姿も見られた。宝引きでは欲しいものが当たり喜ぶ利用者で賑わった。玄関前では、新人職員たちの踊りを披露。CDの音が飛び何度もやり直すハプニングもあり、会場からは笑いと拍手がおこ



柏木妙子民謡ショー

その後ホールでは柏木妙子民謡ショーが行われ、曲に合わせて手拍子や歌を口ずさむ利用者もいて会場は盛り上がった。



大繁盛の夜店

松橋理事長が「いつもお世話している職員による催し物もたくさんあり、楽しい企画となることを期待します。」湊施設長が「夏の夜をゆつくりと楽しみ英気を養って下さい。」とあいさつした。

比内養護学校たかのす分校中等部の生徒12名が7月来荘し通所リハビリの利用者と交流した。昨年も来てくれたので一年ぶりの再会を喜ぶ利用者もおり「大きくなったな」「元気に頑張ってるね」と孫にあつたように声をかけあっていた。自己紹介の後、二つに分かれてゲーム大会をした。大きな筒にボールを入れボーズが落ちた所で点数が加り点される手作りのゲーム。狙いを定めても点数が取れ

ず歓声を上げ楽しんだ。帰りには利用者の手作りの雑巾が手渡され生徒に喜ばれていた。



生徒とゲームする利用者

## ゲームで交流

## 共勇会獅子踊り



躍動感あふれる踊り

8月13日米内沢共勇会の獅子踊りが行われ、利用者たちを喜ばせた。利用者たちは玄関前に移動。共勇会の人たちがおはやしに合わせ奴踊りや棒使い、勇壮な駒踊りを披露したほか、米内沢保育園の園児たちもかわいいうちまひで利用者たちを楽しませた。毎年の恒例行事とあって「お盆がきたな」「すばらしいな」と利用者からは演目が終わるたびに拍手が送られていた。

# 今年も赤組が優勝



表彰される優勝した赤組の利用者

# 熱戦

## 競技楽しむ

6月7日、第7回施設運動会「もりりんぴつく」が荘の駐車場で行われた。好天に恵まれ、利用者の家族、北鷹高校ボランティア、近隣の方々をむかえ競技を楽しんだ。開会式で湊施設長が「運動会日和。ケガなく、水分を十分に補給しながら楽しく過ごしましょう。」とあいさつし、理事長の祝辞に続き、利用者代表が「この地域で安心して暮らす

ため、医療・介護・福祉サービスのみならずの充実のため、一人一人の健康維持のために頑張ろう。」と選手宣誓した。準備体操に続き、利用者全員参加の「となりへどうぞ」が行なわれた。チームに分かれた利用者が横一列に並び、かつらや衣装を順番に隣に手渡し、返って来たものを男性職員

が次々と身につけていった。最後に手渡しした化粧セットで利用者からキレイ？に女性に仕立てられた職員がゴールへと駆け込んだ。その職員を見て大笑いする利用者もいる一方で「あの人誰だ？おどこのひとだが？」と言う利用者もいた。



わたし、きれいかしら



毎年恒例、新人職員の舞

最後に行なわれた「新人の舞」では新人職員が、AKB48の曲に乗って見事なダンスを披露した。



花の苗を植える参加者

## 心を含めて

6月4日森吉赤十字奉仕団の団員14人がマリゴーランドなど一四〇株花苗の移植作業に汗を流した。

散歩をしていた利用者も作業を手伝い「花っこきれいだな」と久しぶりに土に触れていた。

代表の北林カズさんは「入所している方に喜んでもらいたくて心を含めて植えました。運動会を花で飾ってほしい。」

毎年施設の運動会に合わせて植栽してもらっている。気温30℃を超える暑さの中丁寧な植え付けをしていた。

# ユニット物語

施設では各ユニットごとに多彩な活動を展開しています。毎月の誕生会、四季折々の節句や行事に、日常とは違った利用者みなさんの生き生きとした笑顔とまなざしが印象的です。今回はそんな情緒豊かな様々な営みの中から、意欲あふれる活動のひとつをお届けします。



## ラムネで一杯

(八月 ふき組)

毎月行われている誕生会。8月は夏の定番・ラムネがだされ利用者の皆様がいしそうに飲まれていました。一服の清涼感を感じるひと時でした。



## 何をお探して

(六月 うめ組)

近くのコンビニへ散歩しながら買い物に行きました。皆さん商品をいろいろ見ながら好きな食べ物を購入し、楽しまれておりました。皆さん笑顔でした！



## 緑がいっぱい

(六月 たんぽぽ組)

晴天の中、北欧の杜公園へ歩行訓練に行ってきました。とても暑かったのですが利用者の皆さんは頑張って歩いています。



## 梅雨の合い間に

(六月 ふじ組)

この日は天気が良くさわやかな風が吹き、記念写真日より。庭にはきれいなジャーマンアイリスが咲き、皆さん見とれておりました。



## 象と一緒に

(五月 みず組)

北欧の杜までドライブに行きました。象のお鼻にしがみつき、にっこり笑顔の一枚です。天気も良く楽しいドライブでした。

# 充実した 職場体験

— 貴重な経験 —



北欧の杜ロッジで

5月27～29日の3日間、森吉中学校1年生4名が職場体験学習で来荘した。後日、生徒達から届いたお礼状をご紹介します。

森吉中学校一年

松浦 萌 吉田愛美  
藤本健治 神成風太

初夏の風に肌も汗ばむ季節となりました。皆様におかれましては、お元気で過ごしのことと思えます。私たちも元気に学校生活を送っています。さて、先日は私たちの体験学習を快く受け入れてくださいました、ありがとうございます。

おかげさまで心に残る貴重な体験をすることができ、充実した職場体験を送ることができました。特に印象に残ったことは、北欧の杜で車いすを押したことです。段差や坂のときなどに困っていた時、優しく教えてくださりありがとうございました。皆さんの体験をさせていただきありがとうございます。私たちは今回の職場体験

を通して学んだことを、これからの進路選択や日頃の生活の中に生かしていきたいと思えます。皆様も健康に留意されてお過ごしください。



歩行訓練のつきそい

## ボランティア

敬称略

柏木妙子御一行 米内沢婦人会 七曲自治会  
(株)かんきょう 比内養護学校鷹巣分校  
秋田北鷹高校 森吉中学校  
米内沢小学校 米内沢保育園  
秋田県信用組合森吉支店 北都銀行米内沢支店  
ケ アロハフラオハナ タカノス  
コールつくしんぼ 森幸園 森泉荘 もりの郷

## 寄付・善意

敬称略

(株)JA大館・北秋田葬祭センター (有)やまこう  
(株)かんきょう Aコープもりよし (株)タクト  
大桂メンテナンス(株) 北秋田市商工婦人部森吉支部  
網干晴裕 伊藤幸信 大倉節子 小林美保子  
櫻井エイ 佐藤俊光 成田謙一 藤原興道  
松橋シエ 村上瑞 谷地田明夫  
比内養護学校鷹巣分校 明成園

## 編集後記

いつの間にか、虫たちの鳴き声が聞こえるようになり、秋を感じるようになりました。▼今年の夏は局地的に大雨が降り続き京都、広島では土砂災害になりました。幸いな秋田では大きな被害をうけることなく夏を終えました。▼私の息子は高校卒業後、4月から仙台の専門学校に進み初めての一人暮らしをはじめました。親としては少し心配でしたが夏休みに帰省したときは心なしかたくなりました。▼さて今回の「かけはし」は自分にとっては初の編集となりました。苦戦しながらも編集スタッフに教えられながら、どうにかこうにか出来上がったと思います。今後も利用者の方々の皆さんの日々の出来事をお伝えできるように頑張っていきたいと思えます。

(T・M)